




JDARN 活動の詳細（平成 30 年 10 月～令和元年 9 月）

日付	配布資料	内容
10 月 17 日（水）	第 12 回委員会 オープンサイエンス推進のための研究 データ基盤の整備 https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/6kai/sanko2.pdf https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/6kai/siry01.pdf 国内分野リポジトリリスト(re3data, FairSharing.org) Data Librarian の条件	「データライブラリアン」についての論文紹介 研究データ基盤について、CTS 認証を得たりポジトリについて議論した。CTS から抽出したアイテムについて、必要な文書と人材、スキルとのつながりを明らかにし、ガイドラインドラフトにつなげることになった。 データリポジトリはコンテナの役割を担うことを再確認した。 内閣府「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会」発表資料を検討した。
10 月 26 日（金）	内閣府「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会」に参加し、「データリポジトリの整備・運用について」報告 データリポジトリの信頼性と要求要件に関する調査検討状況報告（PDF 形式：995KB）	JDARN の活動で協議された内容を検討会で紹介した。
11 月 29 日（木）	第 13 回委員会 "Enabling FAIR Data Project" と関連する記事 http://www.copdess.org/enabling-fair-data-project/ Advancing FAIR Data in Earth, Space, and Environmental Science https://doi.org/10.1029/2018EO109301 RDA Interest Group Charter Earth, Space, and Environmental Sciences IG Advancing FAIR Data in Earth, Space, and Environmental Science A data citation roadmap for scientific	10 月 26 日「第 7 回国際的動向を踏まえたオープンサイエンス推進に関する検討会」での JDARN 紹介についての報告。研究データリポジトリの整備・運用ガイドライン作成のための資料について検討を始めた。 ボツワナ開催の RDA についての報告があった。

日付	配布資料	内容
	<p>publishers</p> <p>https://doi.org/10.1038/sdata.2018.259</p>	
12月21日(金)	<p>第14回委員会</p> <p>研究データのライセンス表示ガイドライン(ドラフト1)</p> <p>データリポジトリ整備・運用ガイドライン(仮称)構成(素案)(改訂)</p> <p>Figshare and the FAIR data principles</p> <p>https://t.co/9KOZnm5Tu0</p> <p>FAIR Principles (GO FAIR サイト)</p> <p>https://www.go-fair.org/fair-principles/</p>	<p>12月17日(月) 研究データリポジトリガイドライン作成に向けた合同ミニワークショップにJDARN有志が参加し、ガイドライン素案の構成検討に協力した。</p> <p>17日の議論を踏まえガイドライン素案のたたき台となる文案を分担して執筆することについて協議した。その結果、JDARN委員がWeb上で素案内容の共同編集を行うことになった。</p>
1月21日(月)	<p>第15回委員会</p> <p>ライセンス小委員会「研究データのライセンス表示ガイドライン(ドラフト1)」</p>	<p>データリポジトリ整備・運用ガイドライン(仮称)分担執筆を進めた。2月20日をめどにオープンサイエンス検討会に提案する予定原稿の素材としてまず仕上げる方向で原稿改訂作業を実施。</p> <p>「リポジトリ」の定義、FAIR原則、CTSの取り上げ方などを協議した。</p> <p>2月18日のRDUF公開シンポジウムでの小委員会発表について検討した。</p> <p>ライセンス小委員会で進めている「ライセンス表示ガイドライン」の方針と概要の紹介があった。</p>
2月14日(木)	<p>第16回委員会</p> <p>JDARN データリポジトリガイドラインドラフト</p>	<p>2月13日(水) JDARN データリポジトリガイドラインドラフトのとりまとめ作業を有志が集って実施した内容を紹介し、さらに内容について議論した。</p> <p>データの「キュレーション」について議論した。</p> <p>RDUF 公開シンポジウムでの JDARN 活動報告について協議した。</p>
2月18日(月)	<p>RDUF 公開シンポジウム</p> <p>小委員会活動報告 3</p> <p>https://japanlinkcenter.org/rduf/events/index.html</p> <p>公開シンポジウム質問票</p>	

日付	配布資料	内容
3月8日(金)	第17回委員会 内閣府素案「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン」 RDUF 公開シンポジウム質問票回答コメント一覧	3月末にガイドラインが内閣府から公開された後に、必要に応じてJDARNから解説資料等を独自の見解などとして出す方向で作業を行う。 JOSS2019 セッションタイトル・提案書の検討を始めた。
4月18日(火)	第18回委員会 データリポジトリ整備・運用ガイドライン案(溶込)(PDF形式:338KB)  データリポジトリ整備・運用ガイドライン案(見消)(PDF形式:361KB)  研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン(PDF形式:893KB) 	3月末に公開されたデータリポジトリガイドライン 「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン」のフォローアップの具体的な内容を協議した。 RDUF 公開シンポジウムのコメントにあったDAMA-DMBOKを紹介した。
5月17日(金)	第19回委員会 JOSS2019 JDARN セッション案	RDA 報告と TRUST 原則紹介。 JOSS2019 JDARN セッション案を検討した。セッション構成と発表者、発表内容を協議した。
5月28日(火)	JOSS2019 G6 セッション	
6月19日(水)	第20回委員会	JOSS2019 JDARN セッションの振り返り 今後につながる様々な話題をざっくばらんに議論した。(データリポジトリやそのコンテンツの利活用、図書館との接点、おすすめデータリポジトリ) 研究データリポジトリの整備・運用ガイドラインに対してJDARNとしての説明文書作成について議論した。
7月30日(火)	第21回委員会 ガイドライン説明資料のたたき台	このJDARN 説明文書(案)の作成目的を議論した。そのひとつとして、ガイドラインと一緒に読めば、CTS 申請のおおよそが理解できるものにするところがありうる。文書構成を検討し、分担執筆を実施することになった。 今後の活動の方向性について議論した。
8月26日(月)	第22回委員会 内閣府 国際的動向を踏まえたオープン	研究データ基盤システムと関連体制の図に基づき、機関リポジトリと分野リポジ

日付	配布資料	内容
	サイエンスの推進に関する検討会（第11回資料）	トリのあり方などを議論した。 ガイドライン説明文書作成は引き続き作業を進めることになった。
9月11日（水）	第23回委員会 内閣府 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会（第11回資料）	研究者のデータリポジトリ選択の現状調査について、研究者へのレファレンスサービスとしての研究データリポジトリ紹介事例の調査についてなどを議論した。